

新しい年を迎えて (30.1.10)

皆様、本年も大過なく新年が迎えらるること偏に地域の支えがあつてこそと衷心より感謝申し上げます。今年も生徒・教職員ともども「前に向かう力」「地域課題を考える力」「チームワーク力」を高める意識を持って地域の灯台となれるよう力を結集したいと考えております。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

昨日 (1/9) は本校の3学期の始業式でした。

「思いやり」の話をしようと考えていた矢先 (1/5) に2名の来校者がありました。次のことを伝えていただき、心より本校生徒に感謝されて帰路につかれました。

○西益田地区振興センター館長 さん

2年生電子機械科 篠原 さんと同じく2年生電気科 田中 さんが西益田地区のために筏を1か月かけて製作してくれました。その筏は、益田市の地域行事である高津川の筏レース<毎年8月>に出場するための筏だそうです。

以前の筏は、大きくて重くて移動するのに大変な苦勞がありました。そこで軽くて安定感ある筏というニーズが地域にあり懸命にチャレンジして課題をクリアしてくれたのが二人だったそうです。館長としては地域の誇りであるとともに宝だと思っています。

○日原の素敵なレディ さん

年末と年始にやんごとなき用事があつて益田翔陽高等学校に車で訪れました。すると私の車に校門に向かう坂道と校門付近の2か所で立ち止まって挨拶をする女子生徒さんがおられました。感服しました。それも学校に来た2度とも立ち止まって車に向かって挨拶をしてくださる生徒さんがおられたので、態度教育が行き届いているなと思い、自分自身元気が出て、感心して校長先生にぜひお伝えしたくて来ました。生徒さんを褒めてあげてください。

始業式は、上記の2つのことを生徒に伝えて終了しました。生徒の皆さん、そのような生徒さんを育てて来られた保護者の皆様、本当にありがとうございます。